

# ■沖縄激戦地土砂の埋立使用阻止 2・6緊急防衛省交渉(東京)

**防衛省から戦没者を守れ！県との事前協議に応じろ！  
土砂採取場所の変更は知事の承認事項だ！**

- 2月6日(火曜日) 12時~2時、開場11時30分~
- 衆議院第1議員会館 国際会議室
- 主催：沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー



**1月10日から12日ガマフヤーがハンスト「戦没者の尊厳守れ！」**

■1月10日国は大浦湾の埋め立て工事に突然着手した。10日から始まったハンストは、工事について県との事前協議抜きで沖繩無視、蹂躪の暴挙に抗議し、この暴挙と真っ向ぶつかった。沖繩県からの協議要請は、11日に防衛局に届いた。沖繩県無視の工事強行は許されない！

■防衛省交渉では主に次の事項を明らかにさせる。「①激戦地土砂の辺野古埋め立て使用は戦没者の尊厳を守れない②埋め立て承認の際の留意事項では「土砂採取場所を変更する場合は知事の承認を受けること」となっており、埋め立て土砂の採取地決定は知事の承認事項。③公有水面埋め立て法施行規則第3条では埋め立て願書に「土砂の採取場所」を記載するように定めており「採取予定地」しか示していない現状は書類不備。④受注業者が決定するという説明はおかしい。⑤埋め立ての岩ズリは「黒石」のはずだが南部は「白石」で強度が弱く使用できない。」などだ。

■戦後、政府が全国の戦没者遺族の元へ届けた遺骨箱の中は、ほとんどが遺骨ではなく御霊石であった。防衛省は、戦没者の血と魂を吸い込んだ南部の御霊石を住民や日本兵を殺したアメリカ軍の基地を作るために海に捨てようとしている。防衛省は人道無視の沖繩激戦地土砂の埋立使用計画を撤回すべきだ。

沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー 具志堅隆松 090-3796-3132

事務局 上田 090-2062-5695

(協賛) 沖繩の闘いに連帯する関東の会・あつまれ辺野古@関東・平和をつくり出す宗教者ネット・  
沖繩・一坪反戦地主会関東ブロック・平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO)